

川越市立美術館 令和4年度事業報告

■新型コロナウイルスの影響

| 令和4年度 | 当館の対応 |
|--------|---|
| 7月1日 | ガイドラインの一部改訂 (入館記録票の廃止など) |
| 9月22日 | ガイドラインの一部改訂 *人数緩和、タッチアートコーナー触察・図書情報コーナー再開など。 |
| 10月30日 | 新型コロナウイルスを理由とするキャンセルの際の使用料の還付終了。 |
| 3月13日 | ガイドラインの一部改訂 *各室定員の撤廃、マスク着用の緩和。 |

- ・川越市立美術館のガイドラインは、令和5年3月13日付けで「感染拡大防止ガイドライン」から「感染拡大予防ガイドライン」に変更。
各室収容人数設定の撤廃、来館者のマスク着用の推奨化。
- ・令和5年5月8日付で川越市立美術館ガイドラインを終了。
現在は、検温装置を撤去し、施設内各所に消毒液ポンプ設置。
各展示室の空気清浄機は継続して設置している。

■展示事業

◆特別展 *2 本実施

市制施行 100 周年・開館 20 周年記念特別展

「コレクション大公開 相原求一郎展アンコール」

川越市名誉市民の洋画家・相原求一郎（1918-99）の画業を当館のコレクション 53 点で紹介した。令和 2 年度に企画、展示し、1 日も公開せずに終了した展覧会の再展示。

会期：令和 4 年 7 月 16 日（土）～9 月 4 日（日）（44 日間）

主催：川越市立美術館

助成：一般財団法人自治総合センター

後援：朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞さいたま総局、時事通信社さいたま支局、東京新聞さいたま支局、日本経済新聞社さいたま支局、毎日新聞埼玉西支局、読売新聞さいたま支局、NHK さいたま放送局、J:COM 東上・川越、テレ玉、FM NACK5

観覧料：一般 500 円（400 円）、大学生・高校生 250 円（200 円）、中学生以下無料

*（ ）内は 20 人以上の団体料金

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご持参の方及びその介護者 1 名は無料

*「川越きもの日」にちなみ、8 日、18 日、28 日に着物、浴衣で来館された方は団体料金で観覧

観覧者数：3,046 人（約 69 人／日）

関連催事：●実技講座「風景を描くー相原求一郎の声をききながらー」

講師：樺山祐和氏（新制作協会会員・武蔵野美術大学教授）

日時：8 月 20 日（土） 午前 10 時～午後 4 時

参加費：2,100 円＋特別展観覧料

人数：8 人（定員 12 人）

●担当学芸員によるスライドトーク

日時：①8 月 6 日（土） 午後 2 時～2 時 30 分

②8 月 11 日（木） 午前 11 時～11 時 30 分

③8 月 21 日（日） 午後 2 時～2 時 30 分 *手話通訳付き

人数：①16 人 ②21 人 ③11 人

●講演会「私の相原求一郎」

講師：新井博氏（元相原求一郎生誕 100 年記念プロジェクト実行委員長）

日時：8 月 28 日（日）①午前 11 時～正午 ②午後 2 時～3 時

人数：①28 人 ②30 人

市制施行 100 周年・開館 20 周年記念特別展

〈小江戸文化シリーズ〉 5 「小茂田青樹展」

日本画が新たな表現を獲得してゆく大正から昭和にかけて日本美術院同人として最前線で活躍した川越出身の日本画家・小茂田青樹（1891－1933）の回顧展。各時代の代表作で画業の展開をたどるほか、制作の実態や川越の関係にも注目した。当館では開館 1 周年以来 19 年ぶりとなる青樹展であった。

会期：令和 4 年 10 月 22 日（土）～12 月 4 日（日）（39 日間）

主催：川越市

助成：芸術文化振興基金

協力：紋蔵庵

後援：朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞さいたま総局、時事通信社さいたま支局、東京新聞さいたま支局、日本経済新聞社さいたま支局、毎日新聞埼玉西支局、読売新聞さいたま支局、NHK さいたま放送局、株式会社ジェイコム埼玉・東日本 東上・川越局、テレ玉、FM NACK5

観覧料：一般 600 円（480 円）、大学生・高校生 300 円（240 円）、中学生以下無料

*（ ）内は 20 人以上の団体料金

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご持参の方及びその介護者 1 名は無料

*「川越きもの日」にちなみ、8 日、18 日、28 日に着物で来館された方は 2 割引

*11 月 14 日（月）〔県民の日〕、12 月 1 日（木）〔市民の日〕、12 月 4 日（日）〔12 月第一日曜日〕は無料観覧日

観覧者数：5,216 名（約 133 名／日）

関連事業：●内覧会（関係者のみ）

日時：10 月 21 日（金）①午前 9 時 30 分～10 時 30 分（開会式）

②午後 3 時～5 時（内覧会）

人数：①46 人 ②16 人

●講演会「小茂田青樹の真価 逆境での踏ん張り」

講師：田野葉月氏（滋賀県立美術館主任学芸員）

日時：11 月 19 日（土）①午前 11 時～午後 0 時 30 分

②午後 2 時～午後 3 時 30 分

人数：①23 人 ②23 人（定員：各回先着 25 人）

●ワークショップ「青樹作品を間近で見よう」

日時：11 月 6 日（日）①《麗日》：午前 11 時～（30 分程度）

②《粉雪》：午後 2 時～（30 分程度）

人数：①5 人 ②8 人（定員：各回先着 6 人）

●スライドによる作品解説

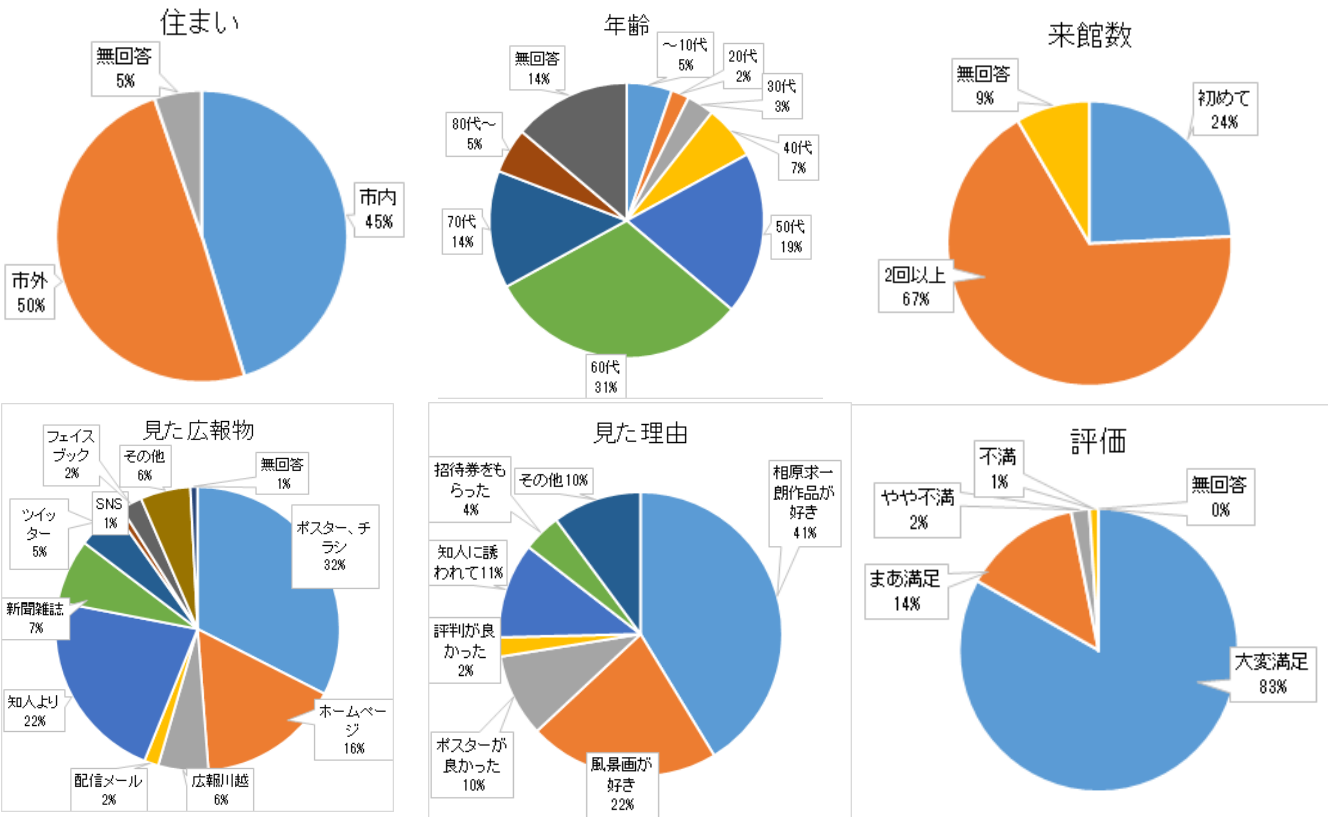
日時：①10 月 30 日（日）午後 2 時～ *手話通訳付き

②11 月 27 日（日）午後 2 時～

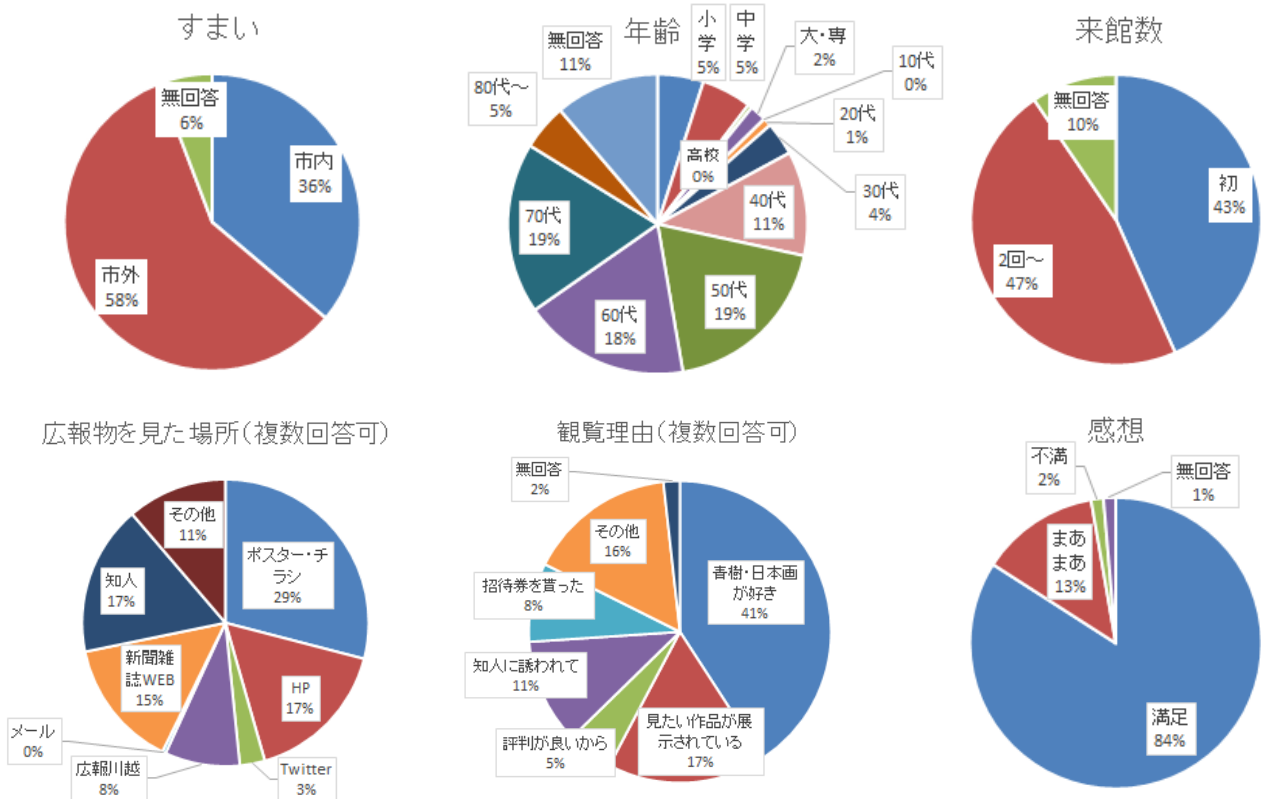
人数：①14 人 ②中止（担当者コロナ罹患のため）（定員：各 25 人）

特別展アンケート

◎「相原求一朗展アンコール」 回収数：95（回答率 3%）



◎「小茂田青樹展」 回収数：227（回答率 4.3%）



◆タッチアートコーナー

第1期「コレクションから 橋本次郎と建畠覚造 同じ年に生まれた二人」※触察不可
令和4年3月30日～6月19日（日）

第2期「奥村拓郎展」※触察不可
令和4年6月28日（火）～9月19日（月・祝）

第3期「安部大雅展—白いかたち—」
令和4年9月22日（木）～12月18日（日）

第4期「糸賀英恵展—frequency modulation—」
令和4年12月22日（木）～令和5年3月26日（日）

◆常設展（常設展示室+相原求一朗記念室）

第1期「関根伸夫とその周辺」+相原求一朗の画業Ⅰ
令和4年3月30日（水）～6月19日（日）

第2期「新制作協会の画家たち」+相原求一朗の画業Ⅱ
令和4年6月28日（火）～9月19日（月・祝）

第3期「まるごと小茂田青樹」+相原求一朗の画業Ⅲ
令和4年9月22日（木）～12月18日（日）

第4期「白と黒の魅力」+相原求一朗の画業Ⅳ
令和4年12月22日（水）～令和5年3月26日（日）

■教育普及事業

◆講座・ワークショップ・教育普及展示等

| | |
|---|---|
| 集まって、え・み～る (常設展展示解説、各期2回) | 第1期：4月23日(0人)、6月5日(12人) 第2期：7月10日(5人)、8月13日(3人) 第3期：10月22日(13人)、 <u>12月10日(4人)</u> 第4期：2月11日(16人)・ <u>3月5日(2人)</u> ※__部は広報に掲載されなかった回 ※___部は延期開催した回 |
| ジュニアアートスクエア ワークショップ(毎月) *アートスクエア実施月を除く。 対象：小学生 定員：10人(9月まで) 15～20人(10月から) アートスクエア ワークショップ(年2回) 対象：小学4年生以上 定員：10人程度 講師：タッチアートコーナー作家 博物館・美術館共催事業 ワークショップ(年1回) 対象：小学生 定員：12人 | 4月23日(9人) 「桜のある風景」 5月28日(10人) 「何かいそうな絵」 6月18日(9人) 「季節の扇子がひろがる」 7月23日(9人) 「ひもで立体にデッサンしよう」 8月4日(12人) 「ミニ灯籠を作ろう」 *博物館・美術館共催事業 8月27日(10人) 「にじいろキューブ」 9月25日(7人) 「秋空にプロペラでソアリング」 10月23日(13人) 「自然の中にはいりこむ」 11月26日(10人) 「絶対大丈夫だるま」 12月24日(13人) 「白と黒の魅力にかえる」 1月28日(14人) 「節分を迎える鬼の気持ち」 2月25日(8人) 「錫でバングルを作ろう」 *アートスクエア。 3月18日(12人) 「楽しい未来カレンダー」 |
| 学校連携事業「4校美術部展」 (市内県立・市立高校美術部展) | 5月3日～8日(1,004人) |
| 学校連携事業「川越市立中学校美術部展」 | 8月18日～21日(1,015人) |
| 学校連携事業「ミュージアム×スクール」(授業に作家を派遣) | 11月1日 埼玉県立特別支援学校 埴保己一学園普通科・中学部 派遣作家：安部大雅氏(彫刻家) |
| 学校連携事業「川越市小・中学校児童生徒県特選受賞作品展」 | 2月23日～26日(843人) |
| 金沢健一 アルミニウム・ワークス 2001-2023(展示+ワークショップ) | 展示3月7日～26日(1,175人) ワークショップ「音のかけらを作る」3月11日(5人) ワークショップ「クラドニ図形を作る」3月19日(5人) ワークショップ「抽象彫刻を作る」3月25日(7人) アーティストトーク 3月12日(11人)、26日(32人) |
| 《協力事業》 川越市立小学校6年生バス見学 | 6月～11月 市内小学校32校の6年生が来館 |

◆Kart サポートスタッフ

登録者数：54 人

主な支援事業

ジュニアアートスクエア・アートスクエア等補助、資料発送補助、講座・講演会等受付、中学校美術部展看視、金沢健一展受付・看視、創作室資材等整理など。

活動状況

| 活動期間 | | 活動単位 | 要請人数 | 参加のべ人数 |
|------|---------|------|------|--------|
| 第1期 | 4月－6月 | 11単位 | 39人 | 39人 |
| 第2期 | 7月－9月 | 22単位 | 61人 | 52人 |
| 第3期 | 10月－12月 | 13単位 | 43人 | 39人 |
| 第4期 | 1月－3月 | 53単位 | 115人 | 100人 |
| 合計 | | 99単位 | 258人 | 230人 |

◆その他

- ・川越市立美術館公式 twitter、Facebook の発信
- ・メール配信サービス

■作品取得

寄贈4点、寄託1点

■美術品外資料の受け入れ

1件 (23点)

■管理運営

◆市民ギャラリー

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 利用可能日数 | 300日 | 298日 | 163日 | 274日 | 299日 |
| 利用日数 | 275日 | 198日 | 138日 | 252日 | 279日 |
| 利用率 | 91.67% | 66.44% | 60.26% | 91.97% | 93.31% |
| 利用者数 | 23,933人 | 18,219人 | 9,071人 | 31,459人 | 37,471人 |

◆創作室

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 利用可能コマ数 | 900コマ | 785コマ | 687コマ | 822コマ | 897コマ |
| 利用コマ数 | 276コマ | 247コマ | 171コマ | 360コマ | 342コマ |
| 利用率 | 30.67% | 31.46% | 24.89% | 43.80% | 38.13% |
| 利用者数 | 1,602人 | 1,463人 | 995人 | 3,610人 | 3,971人 |

*参考

平成30年度は感染症以前の状況であり、令和元年度末から令和2年度にかけて感染症予防のため各室に定員を設けた。令和3年度から回復途上にあり、令和4年度末に定員は撤廃している。創作室の利用者数は、申請から実数に変更したため減少している。

◆審議会等

川越市立美術館協議会（美術館の運営について審議）

→ 2回開催（5月27日、2月24日）

川越市立美術館美術品等選考評価委員会（作品の収蔵の可否について審議）

→ 1回開催（11月29日）

川越市立美術館利用研究委員会（美術館と学校利用について審議）

→ 3回開催（6月29日、11月24日、2月22日）

◆美術館・博物館・本丸御殿専用駐車場

初雁公園周辺の整備に伴い、5月24日から10月17日まで北駐車場を美術館・博物館・本丸御殿専用駐車場として使用、10月18日から南駐車場に復帰した。

着工段階で従来の収容台数から半減し、工事完了後も収容台数は28台（優先駐車場1台を含む）となった。